

平成8年度いばらきデザイン展
- いばらきデザインフェスタ'97 -

椎名美佳子* 平松 茂夫* 佐藤 茂*
石川 章弘** 根本 達志*** 鷲野谷 昇***

1. 緒 言

当事業は、デザインを活かした地場産業の振興及びデザイン業等ソフト産業の振興を支援するため、県内中小企業にデザイン効用への理解と増進を図り、優良県産品やデザインに対する県民の関心と普及を高め、デザインに関わる関係業種間の交流を促進しつつデザインビジネス創出の機会を醸成するなど、産業の振興に寄与することを目的に開催した。

事業の内容は、県内中小企業の実生活関連製品、工業製品を中心に、デザイン系教育機関学生作品、デザイン事務所・建築設計事務所の作品等の展示・紹介、並びにデザイン教室で構成した。

2. 内 容

展示会の名称 いばらきデザインフェスタ'97
開催期日 平成9年1月24日～28日(5日間)
展示会場 茨城県立県民文化センター
展示室、県民ギャラリー
主 催 茨城県 茨城デザイン振興協議会

3. 催事構成

3.1 展示コーナー

(1) プロダクト製品

工業製品、家具・木工品、繊維製品、陶磁器・ガラス製品等

(2) デザイン事務所作品

グラフィックデザイン、イラストレーション等

(3) 建築デザイン作品

環境、建築、内装デザイン等

(4) 学生作品

県内デザイン教育機関の学生作品等

(5) 工業技術センター紹介

技術センターの成果品、研究内容等

(6) 特別展示

県内地酒のパッケージ展

3.2 デザイン教室

子供を対象とした建築折り紙、オリジナルキーホルダー作りのワークショップ

3.3 巡回展

県内市町村等の開催要望をうけ、下記で開催した。

古河展

開催期日 平成9年3月14日～16日(3日間)

展示会場 古河市役所ロビー

4. 結 果

地場産業を中心とする製造業やデザイン事務所、建築事務所などデザインを経営資源とする企業より66社、300点の出展が得られた。また、入場者は水戸会場1,101名、巡回展古河会場746名、計1,800名の入場者があったほか、新聞各紙、ラジオ放送、刊行物等のパブリシティーで報道されるなど当初の普及・啓発目的を満足する結果が得られた。

今回で8回目となる当事業は、展示品のデザインレベルや参加企業規模などの内容面で、事業としての定着が図られた感を強くするものとなった。また、参加企業のビジネス機会の確保を図るため、展示内容を記録した「デザイン展記念誌」(A4版26頁)を発刊し、入場者をはじめ各関係機関等へ配付した。

以上のように、当事業が目的とする「デザインへの理解と共感の形成」、「地域のデザイン・マインドの高揚」、「事業機会の拡大と交流の促進」が、徐々にではあるが達成されつつあり、巡回展についても、各地域での開催要望が極めて強いものがあることも実感した。

しかし、マルチメディア関連ビジネスの進展、再資源化・省資源化などのエコロジーへの関心、誰にでも分かりやすく使いやすい高齢社会へのデザインの対応といった、デザインに求められるソーシャル・ニーズが大きく変わろうとしている今日、当デザイン展をはじめとするデザインの振興方策の在り方をあらためて再確認する必要もあると思われる。

本事業の実施に際しては、工業技術センターの3部のデザイン担当者で推進会議を構成し、企画・立案・運営に当たった。また、茨城デザイン振興協議会の代表者で構成する「いばらきデザインフェスタ'97実行委員会」では、事業設営の委託を受け出展者の勧誘、展示会場の企画・設営、ポスター・ダイレクトメール等の広報物の企画・デザイン・印刷、さらには、巡回展の開催、記念誌の企画・発行など多大なご協力をいただいた。

おわりに、本事業の実施に当たりご後援いただいた(財)日本産業デザイン振興会はじめ(社)日本グラフィックデザイナー協会、水戸市、古河市、県商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業振興公社、中小企業団体中央会、茨城新聞社の関係機関、さらには特別展示にご協力いただいた茨城県酒造組合等の各位に謝意を表します。



図1 展示会場